

旭川岡山中心市街地のかわまちづくりについて

Community Development Integrating Rivers in the Asahi River in Okayama City Center

河川・海岸グループ	研 究 員	松尾 峰樹
企画グループ	グループ長	柏木 才助
	主席研究員	光橋 尚司
河川・海岸グループ	研 究 員	阿部 充
水循環・まちづくりグループ		佐治 史

岡山県岡山市を貫流する旭川は、^{うじょう}鳥城として知られる岡山城と日本三名園のひとつである岡山後樂園の間を流れ、美しい景観や歴史・文化を感じられる貴重な空間を提供している。岡山城、岡山後樂園の周辺は岡山駅から約2kmと中心市街地から近く、周辺には博物館や美術館等の文化施設も集積しており、岡山カルチャーゾーンと呼ばれているが、これらの回遊性が十分でないことから日常的なにぎわいに乏しいことが課題となっている。

そこで、平成25年度より旭川を管理する国土交通省岡山河川事務所や岡山市をはじめとする各関係機関の連携により、かわまちづくり支援制度を活用した岡山城、岡山後樂園周辺の旭川のにぎわい創出の取り組みが進められている。

本稿では、この平成28年度の取り組みとして、水辺の回遊路の歩行性向上の検討とミズベリング岡山旭川2016について報告する。

キーワード：かわまちづくり、ミズベリング、回遊性向上、にぎわい創出

The Asahi River flows between Okayama castle known as the raven castle and Koraku-en garden, one of the three outstanding gardens in Japan, in the center of Okayama City, and provides valuable space of beautiful scenery with a historic and cultural atmosphere. The area around Okayama castle and Koraku-en garden, located around 2 km from Okayama station and very close to the city center, has cultural facilities including art and other museums, and is called as the Okayama cultural zone. However, the area is not so attractive for visitors to walk around, and is not lively in ordinary days.

Therefore since 2013 fiscal year, efforts to gain prosperity in the area have been conducted by the Okayama River Management office, MLIT, Okayama City Hall, and other agencies, by utilizing Community Development Integrating River support project.

This paper updates the efforts in 2016 fiscal year, especially on the study on improvement of walkability along the Asahi River and the “Mizbering Okayama Asahi River 2016.”

Keywords: community development integrating river, mizbering, improvement on migration, creating a space for prosperity

1. はじめに

岡山県岡山市中心部を流れる旭川の周辺は、岡山城や日本三名園のひとつである岡山後楽園をはじめ、岡山県立美術館、岡山県立博物館など、岡山の歴史、文化、芸術に触れられる岡山カルチャーゾーンと呼ばれる地域である（図－1）。しかし、回遊性が十分でないことから、日常的なにぎわいに乏しいことが課題となっている。

そこで、平成25年度より旭川を管理する国土交通省岡山河川事務所や岡山市をはじめとする各関係機関の連携により、かわまちづくり支援制度を活用した岡山城、岡山後楽園周辺の旭川のにぎわい創出が進められている。

本稿は、平成28年度に実施された取組を取りまとめたものである。



写真－1 岡山城、岡山後楽園周辺の旭川



図－1 岡山カルチャーゾーンの範囲
（出典：岡山市都市創生まちづくり構想）

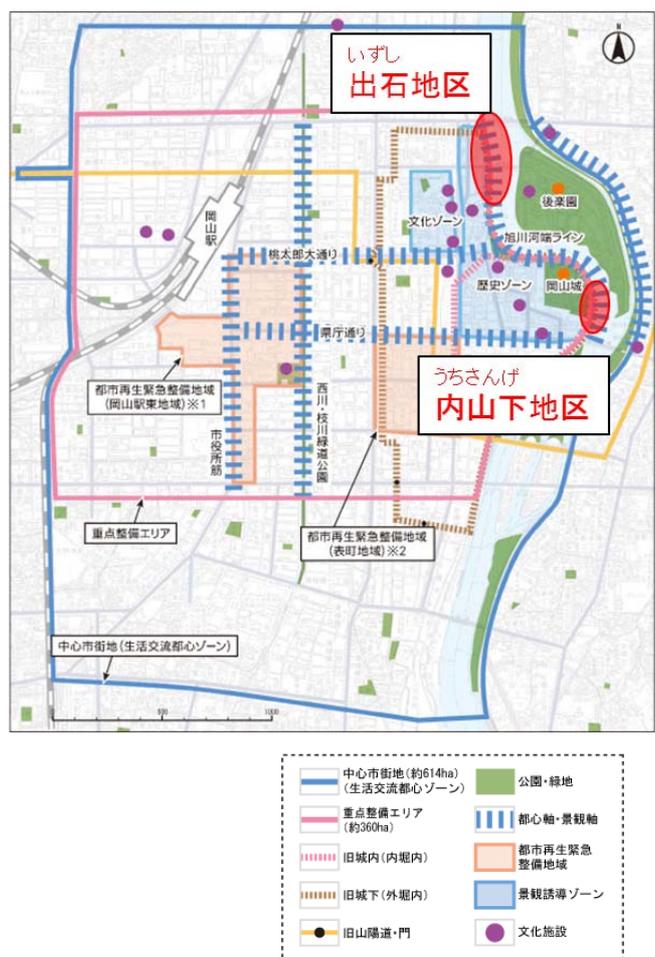
2. これまでの取組

岡山市や国土交通省岡山河川事務所による、上記の課題解決に向けた取り組みとして、岡山市の計画、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川の河川改修事業、かわまちづくり計画が挙げられる。

2－1 岡山市の計画

平成10年7月に施行された中心市街地活性化法に基づき、平成11年3月に岡山市が策定した岡山地域中心市街地活性化基本計画では、岡山駅前周辺の中心市街地から桃太郎大通りを経て石山公園を抜け旭川までを結んだラインや県庁通り、旭川水系河川整備計画にて改修が位置付けられている旭川右岸の出石地区と内山下地区を結ぶ旭川沿いの通り（旭川河端ライン）が、都心軸・景観軸として位置付けられている（図－2）。

また、平成21年4月の政令指定都市移行に合わせて策定された「岡山市都市ビジョン 新・岡山市総合計画」や、その理念を引き継ぎ、平成28年3月に長期構想を策定、現在、前期中期構想を策定中である「岡山市第六次総合計画」においても、岡山城・岡山後楽園を中核とする歴史・文化ゾーン、表町エリア、岡山駅周辺エリアなどそれぞれの特性を活かすとともに、回遊性を高めるなど、魅力と賑わいのある中心市街地の創出を図ることが掲げられている。



図－2 岡山市の中心市街地基本構造図
（出典：岡山地域中心市街地活性化基本計画に追記）

2-2 出石地区、内山下地区の河川改修事業

出石地区においては、河川改修事業により無堤区間の堤防整備と併せて、水辺へのアクセス可能なスロープが整備されることとなっている(図-3)。また岡山市が実施する都市計画道路整備と連携することにより、堤防上にオープンスペースが創出される。

内山下地区においては、堤防整備と併せて既設のスロープが改修されることとなっている。

両地区のスロープの整備により、水辺へのアクセス性の向上が期待される。



図-3 出石地区の河川改修後のイメージ
(出典：一集う・憩う・楽しむ水辺ー「旭川再生！」)

2-3 旭川かわまちづくり計画

「旭川かわまちづくり計画」は、旭川左岸古京地区における護岸整備や桜の維持・桜並木の保全を含む歩行空間整備、旭川右岸城下地区における鳥城(石山)公園のリニューアルやオープンカフェの開催、岡山城・岡山後楽園におけるコミュニティサイクルポートの設置等の内容を盛り込み、平成25年3月に新規登録された。

また、平成28年3月には、旭川左岸古京地区における桜の維持・桜並木の保全を含む歩行空間整備を上流側の新鶴見橋まで延伸することと、それに伴う堤防整備を追加し、第1回の登録変更が行われている。(図-4、図-5)



写真-2 旭川左岸古京地区・旭川さくらみちの桜並木の保全状況



©OpenStreetMap contributors / CC BY-SA

図-4 第1回登録変更時点における旭川かわまちづくり計画の主な項目(ハード整備)



図-5 第1回登録変更時点における旭川かわまちづくり計画の主な項目（ソフト施策）

3. 平成28年度の取組

3-1 旭川かわまちづくり計画

岡山城・岡山後楽園周辺の旭川右岸沿いや岡山後楽園外園沿いには、巨石の捨石工で形成された「水辺の回廊」と呼ばれている水辺の回遊路がある(写真-3)。

平成27年10月に開催されたミズベリング岡山旭川のワークショップにて市民から「がたがたして歩きにくい」「水辺をもう少し歩きやすくすれば散策しやすくなると思う」等、水辺の回廊の歩行性改善に関する意見をいただいたことを受け、水辺の回廊の歩行性を向上させ、河川管理用通路として整備することを目的とした検討を行い、「旭川かわまちづくり計画」に位置づけるため平成29年3月に第2回登録変更が行われた。



写真-3 岡山城・岡山後楽園周辺の旭川右岸側の水辺の回遊路の現状

(1) 水辺の回廊の歩行性向上

1) 幅の検討

「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」では、移動等円滑化園路の通路の基準として、通路の有効幅員180cm以上、横断勾配1%以下とされている(図-6)。

出石～内山下地区間の河川管理用通路についてもユニバーサルデザインへの配慮、出石地区及び内山下地区のスロープとの連続性、既整備の水辺の回廊における捨石間詰コンクリート幅(2.2m～2.7m程度)、安全性の確保等の観点から総合的に勘案し、「旭川かわまちづくり計画」に基づく事業等の円滑な推進と「旭川かわまちづくり計画」の変更に関する検討を行うことを目的とした「かわまちづくり計画検討・推進会議」にて幅員2.50mとした。また利用者の安全に配慮し、端部において縁石天端から10cmの段差を設けるとし、横断勾配は2%とした(図-7)。

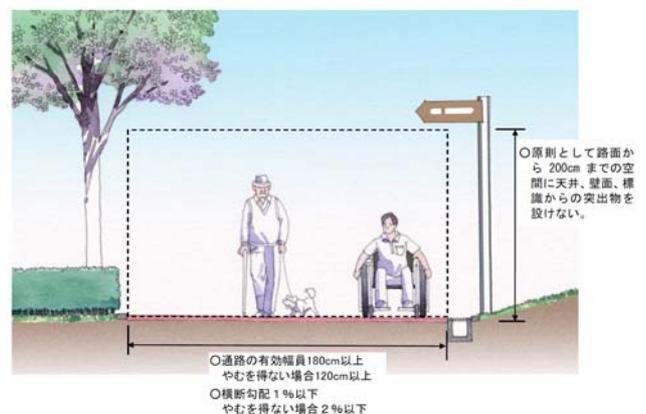


図-6 移動等円滑化園路の通路の基準の参考図 (出典: 都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン)

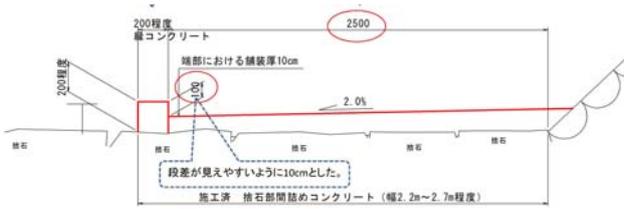


図-7 河川管理用通路横断イメージ
(出典：かわまちづくり計画検討・推進会議資料)

2) 舗装の検討

出石地区及び内山下地区は風致地区であり、この2地区を結ぶ河川管理用通路についても景観に配慮する必要がある。

河川管理用通路は既整備の捨石工の上に整備することから、土系舗装をイメージし濃淡が異なる中穏色、暗穏色とコンクリート舗装やアスファルト舗装をイメージした無彩色の3案について比較し、「かわまちづくり計画検討・推進会議」にて意見を聴取した結果、中穏色による試験施工を行い、色合いを確認した上で本施工を行うこととなった。(図-8)。

また水辺の回廊は休憩や散策の利用が主であり、ジョギング等の利用については、より幅員が広い堤防上の道路の利用が見込まれることから、舗装の素材については、硬質で流水や水没に対して強い着色コンクリート舗装が適切であると考えられる。



図-8 中穏色による舗装イメージ
(左下：遠景、右上：近景)

(出典：かわまちづくり計画検討・推進会議資料)

(2) 期待される効果

1) 水辺へのアクセス性の向上

桃太郎大通りと旭川の合流点となる石山公園前には、水辺へのアクセスが可能なスロープが既に整備されている。出石地区のスロープは石山公園の上流側に位置する。また、内山下地区のスロープは、岡山市が回遊性の向上を図っている県庁通りと旭川の交点付近に位置する。

出石地区のスロープ、石山公園前のスロープ、内山下地区のスロープの三点を歩行しやすい河川管理用通路により繋ぐことで、水辺へのアクセス性の向上に寄与し、地域住民や観光客が水辺と触れ合う機会が増えることが期待される(図-9)。

2) 新たな回遊ルートの誕生

河川管理用通路整備により、既整備の旭川さくらみちと蓬莱橋、鶴見橋、相生橋を介して接続される良好な歩行環境の水辺の回遊ルートが生まれ、旭川における水辺のにぎわいづくりの気運の高まり、岡山後樂園、岡山城といった文化財と旭川が織り成す景観を眺めるビュースポットの創出といった観光面の効果も期待できる(図-9)。



©OpenStreetMap contributors / CC BY-SA

- 出石地区～内山下地区回遊路整備区間【国】
- 岡山城周辺回遊路整備区間【市】
- 既存の回遊ルート
- 既設の水辺の回遊路
- ■ ■ ■ ■ 新たに誕生する水辺の回遊ルート

図-9 河川管理用通路整備により新たに誕生する水辺の回遊ルート

(3) ソフト施策の追加

ソフト施策については、ハード施策との相乗効果を図るため、以下の表-1の内容が「旭川かわまちづくり計画」へ新たに追加された。

表-1 ソフト施策新規追加項目一覧

項目	実施団体	内容
石山公園パークマネジメントの推進	岡山市	行政、市民、民間団体等が連携した協議体が公園を管理・運営・整備する仕組みである「パークマネジメント」を推進し公園の魅力向上や、にぎわいの創出を図る。
オープンカフェ常設化に向けた社会実験	岡山市	平成27年度は9月～11月の休日14日・平日9日の計23日間、キッチンカーによる実験を実施。 平成28年度は9月～11月の3か月間、移動型店舗を常設して実験を実施。 今後はこれらの実験の結果を検証し、常設化のスキーム等を検討する。
公園トイレのネーミングライツ	岡山市	民間活力の導入により公園トイレの管理の質を高め、市民等が快適に利用できるようネーミングライツ制度を活用し、公園の魅力向上及び地域経済活動の活性化を図る。
ミズベリング岡山旭川	岡山河川事務所	市民や岡山を訪れる皆さんに、岡山城・岡山後楽園周辺の旭川に親しんで頂くとともに、「かわ」と「まち」づくりについて一緒に考えることを目的とした「ミズベリング岡山旭川」を開催し、旭川の新たな魅力を引き出す。
旭川かわまちフォトコンテスト	岡山商工会議所	旭川を市民や観光客により親しんでいただくため、四季を通じて「旭川で集い、憩い、楽しむ人々」をテーマにした写真を募集し、フォトコンテストを実施する。展示やホームページ等で県内外に優秀作品を紹介するとともに、写真集等を発行して旭川の魅力を発信する。

3-2 ミズベリング岡山旭川 2016

(1) 開催概要

岡山城・岡山後楽園周辺の旭川一帯の水辺空間がにぎわいの拠点となることを目指し、前年に続き2回目となる「ミズベリング岡山旭川 2016」が平成28年10月16日に開催された(写真-4)。

今回「ミズベリング岡山旭川 2016」では、新たな試みとして、地元の行政、大学、NPO等からなるミズベリング岡山旭川 2016 実行委員会各団体による企画イベントの他に、市民、企業、団体よりイベントの企画及び実施者の公募を行ったこともあり、開催されたイベント数が6から12と2倍に増加した(図-10、表-3)。

また前回はチラシ、ポスター、WEB、広報誌への掲載による広報に加えて、若年層への効果的な周知を図るため、タウン情報誌への掲載やFacebookの活用による広報を行った。



写真-4 ミズベリング岡山旭川 2016 開催状況

当日は夕方から雨となる天候だったものの多くの人々が旭川周辺を訪れ、また、河川敷で休息する人も多く見られ、旭川活用のポテンシャルが高いことが示唆された。

表-2 ミズベリング岡山旭川 2016 実行委員会
構成団体及び公募イベント実施団体

構成団体	
岡山市	
岡山大学	
岡山商工会議所	
岡山県	
岡山河川事務所	
NPO法人 ENNOVA OKAYAMA	
岡山カヌークラブ	
(公財)岡山市公園協会	
(公社)おかやま観光コンベンション協会	
NPO法人 まちづくり推進機構岡山	
後援	
岡山県内水面漁業協同組合連合会	
公募イベント実施団体	
アイサワ工業(株)	
NPO法人 健康ライフネット	
備前百会灸普及会	
したっぱの会	

表-3 2015年及び2016年のミズベリング岡山
旭川にて開催されたイベント一覧

2015年	2016年
オープニング、桜の植樹	オープニング、フォトコンテスト授賞式
後楽の森と川パークマーケット	パンマルシェ、オープンカフェ等
飲食店の出店	「水と青のじかん」こどものワークショップ
カヌー体験	備前百会灸体験
旭川かわまちウォーク	カヌー体験
ワークショップ	みんなでOKAYAMA! 市民体操
	移動水族館
	秋涼リバーコンサート
	アンダーザブリッジ・シアター
	現地見学会～岡山城と旭川とお城と石垣～
	川を桃でうめつくそう
	水辺のブックカフェ
合計イベント数 6	合計イベント数 12

(2) アンケート調査

ミズベリング岡山旭川の今後の活動と、旭川周辺を含めた岡山市中心部のにぎわいづくりの参考とするため、来場者を対象に回遊性に関するアンケート調査を実施した。

1) アンケート調査概要

アンケート調査の概要は以下のとおりである。

■調査日時

平成28年10月16日(日) 10:00～16:00

※20時までイベントが行われる相生橋周辺における調査時間については、天候、外の明るさ等の状況を見て17:30までとした。

■調査場所

ミズベリング岡山旭川 2016の各イベント会場

図-10 ミズベリング岡山旭川 2016
開催イベント概要



©OpenStreetMap contributors / CC BY-SA

図-11 アンケートの調査箇所

■調査対象

ミズベリング岡山旭川の各イベント会場の来場者

■調査方法

アンケート協力を呼びかけ、調査員がヒアリングを行い記入する聴き取り調査を基本とし、状況に応じて回答者が書き込む方法で調査を行った。

■回答数

233 票

■調査内容

- Q1：本日はどなたとこられましたか。
- Q2：本日、ここに来た目的はなんですか。
- Q3：今回のイベント開催情報を何から知りましたか。
- Q4：ここまでどのようにきましたか。
- Q5：今日はどのエリアに行きましたか、または行く予定ですか。
- Q6：昨年度行ったミズベリングに参加されましたか。
- Q7：今後、旭川周辺で同様の企画があればどのような形で参加してみたいですか。
- Q8：今回参加されて良かったこと、満足されたことを教えてください。
- Q9：今回参加されて、改善すべきこと、不満だったこと、ご要望、ご提案等ありましたら教えてください。
- Q10：昨年のミズベリング岡山旭川で行われた川づくり・まちづくりを考えるワークショップで、多くの市民と関係者から「巨大なモモのオブジェを旭川に浮かべたい」という意見、要望が寄せられました。
あなたはこの意見に賛同されますか。
- Q11：「巨大なモモのオブジェ」の制作費を、寄付で賄うとしたらご協力いただけますか。

(属性等)

- ・回答者の属性
- ・回答者の居住区
- ・旭川の利用目的及び利用頻度

2) アンケート調査結果

アンケート調査の主な結果を以下に示す。

① アンケートの回答数

アンケートの回答は 233 票得られた。会場毎の回答数の内訳は、表-4の通りである。

表-4 会場毎のアンケート回答数内訳

会場	回答数
①石山公園	118票
②鳥城公園檜槽跡付近	11票
③月見橋周辺	66票
④岡山後楽園東広場	24票
⑤旭川さくらみち河川敷（相生橋付近）	14票
合計	233票

② 回答者の属性

アンケート回答者は約7割が40代以下であった。また、男女比については男性：女性が1：2であった（図-12）。

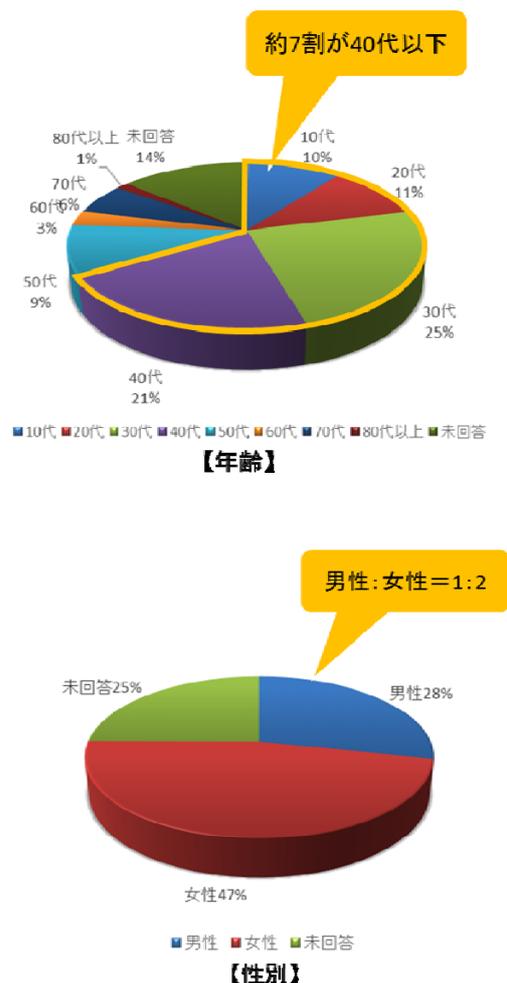


図-12 アンケート回答者の属性

③ 交通手段

ミズベリング会場への交通手段として、自家用車が最も多く、次いで自転車、徒歩であり、公共交通機関を利用した来場は少なかった。

また自家用車、自転車、徒歩といった単独の交通手段が多く、JR+路面電車、バス+徒歩といった複数の交通手段を利用した人は少なかった。（図-13）

<参考文献>

- 1) 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所：平成28年度旭川水系河川事業効果検討業務報告書（2017）
- 2) 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所：旭川水辺利用推進検討業務報告書（2016）
- 3) 岡山市、国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所：－集う・憩う・楽しむ水辺－「旭川再生！」（2014.11）
- 4) 岡山市：旭川かわまちづくり計画
- 5) 岡山市：中心市街地活性化基本計画（2001.3）
- 6) かわまちづくり計画検討・推進会議資料（2016-2017）